

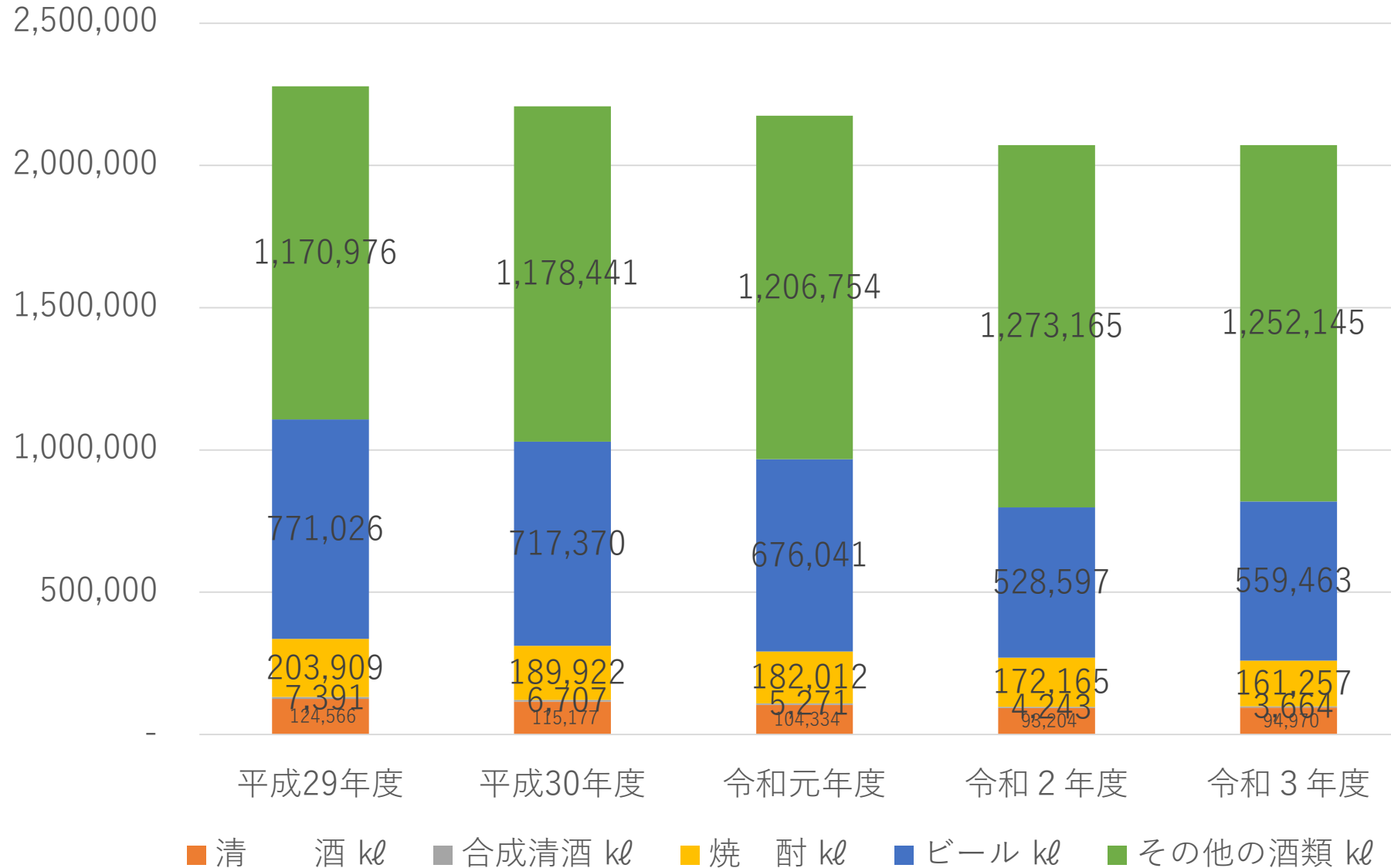
東京都における アルコールをめぐる状況

【データベース】

酒類販売（消費）数量の累年比較

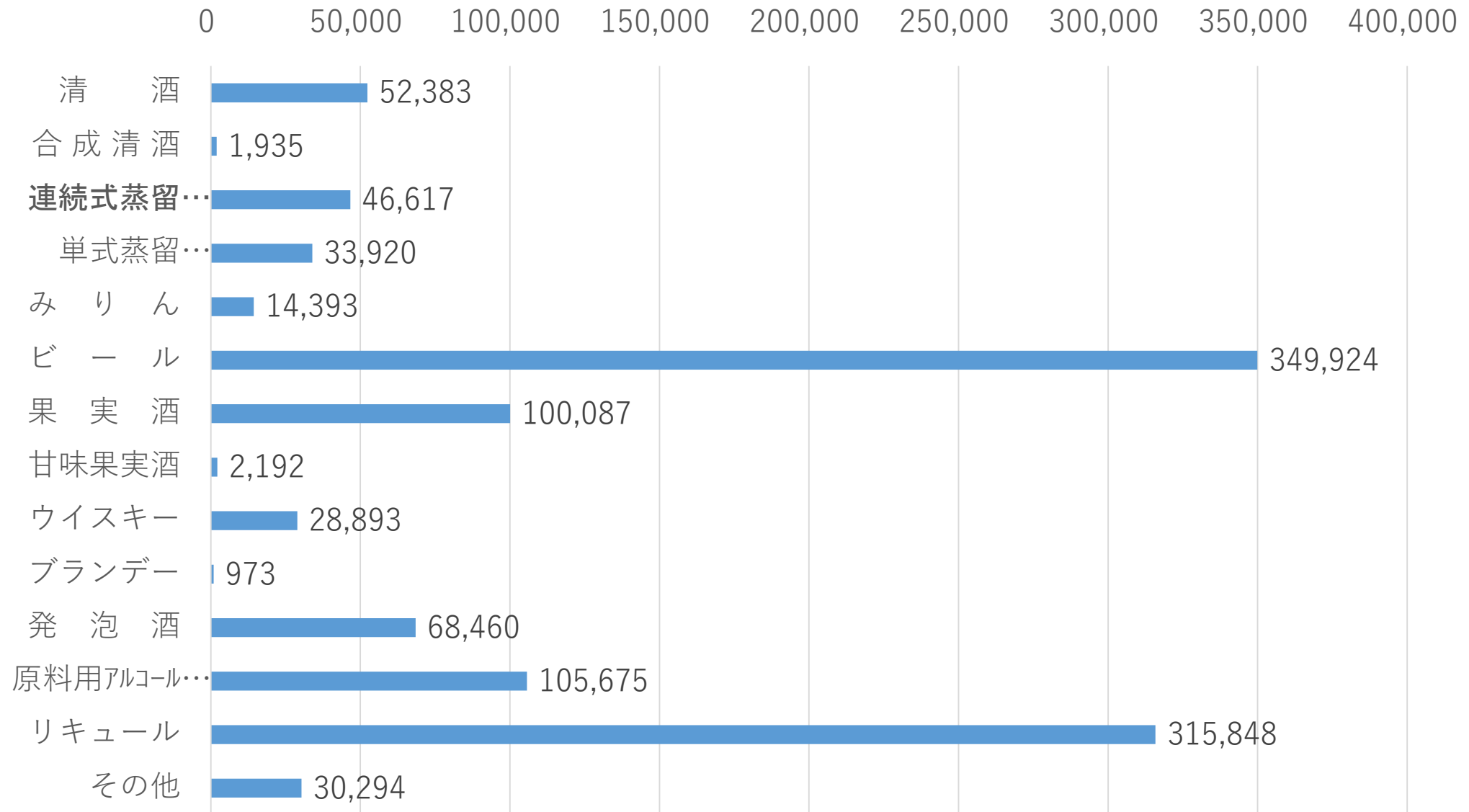
○国内におけるアルコールの消費量は縮小傾向となっている。

(国税庁HP「統計情報」より)



都における酒類販売（消費）数量

（国税庁HP「統計情報」より）



成人1人当たりの酒類販売（消費）数量

（国税庁HP「統計情報」より）

○都における成人1人当たりの酒類販売（消費）数量は全国平均を上回っている。

	清酒	合成酒	連続式蒸留焼酎	単式蒸留焼酎	みりん	ビール	果実酒	甘味果実酒	ウイスキー	ブランデー	発泡酒	リキュール	スピリッツ等	その他の醸造酒等	合計
東京	4.4	0.2	3.9	2.8	1.2	29.3	8.4	0.2	2.4	0.1	5.7	26.5	8.9	2.5	96.6
全国平均	3.9	0.2	3	3.7	0.9	17.9	3.4	0.1	1.6	0	5.7	23.3	7.4	3.1	74.3

単位：ℓ

飲酒をする人の状況

- 飲酒をする人の割合は、男性はほぼ横ばいなのに対し、女性は令和3年では増加

(単位：%)

データ項目		平成24年	平成28年	令和3年
飲酒をする人の割合（20歳以上） （あなたは週何日位お酒を飲みますか という問いに、毎日、週5～6日、週 3～4日、週1～2日、月に1～3日 と回答した者の割合）	男性	70.9	68.5	68.7
	女性	46.5	44.1	50.1

資料：平成24年 健康に関する世論調査
平成28年 健康と保健医療に関する世論調査
令和3年 健康に関する世論調査
（東京都生活文化スポーツ局）

生活習慣病のリスクを高める飲酒者の状況

- 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合については、男性は減少傾向となっているのに対し、女性は増加傾向
- 飲酒をする人のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒をしている人の割合でも、女性は増加傾向

データ項目		平成24年	平成28年	令和3年
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合（20歳以上）（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人の割合）	男性	19.0	18.9	16.4
	女性	14.1	15.4	17.7
飲酒をする人のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合（20歳以上）	男性	26.8	27.6	23.9
	女性	30.4	34.9	35.5

資料：平成24年 健康に関する世論調査
平成28年 健康と保健医療に関する世論調査
令和3年 健康に関する世論調査
（東京都生活文化スポーツ局）

保健所の相談状況

○ 都内の保健所におけるアルコール関連相談件数は、年度によって増減はあるが、おおむね年間2～3千件の間で推移

(単位：件)

データ項目	地区	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
保健所におけるアルコール関連相談件数 (※)	区部	1,782	1,621	1,481	1,017	1,032
	市町村部	1,167	1,202	1,927	1,529	1,365
	計	2,949	2,823	3,408	2,546	2,397

※ 区部については特別区保健所の合計数、市町村部については八王子市保健所、町田市保健所及び都保健所の合計数
資料：地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）

精神保健福祉センターの相談状況

- 都立（総合）精神保健福祉センターにおけるアルコール関連相談件数は、2千件台で推移

（単位：件）

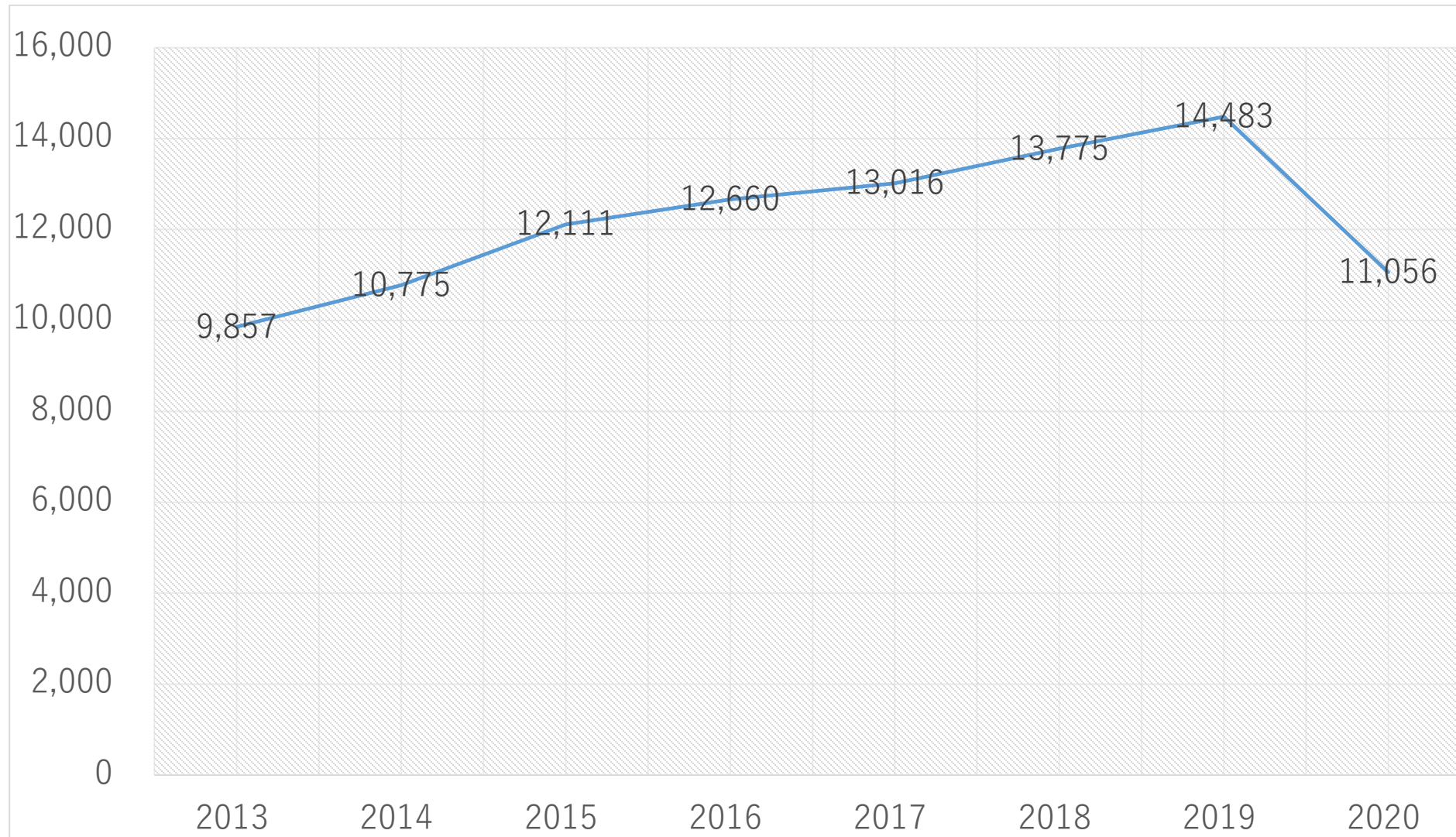
データ項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
精神保健福祉センターにおけるアルコール関連相談件数（※）	3,012	2,727	2,785	2,594	2,900

※ 都立（総合）精神保健福祉センターにおけるアルコール関連（ギャンブル等その他の嗜癖を含む）の相談件数
資料：東京都福祉局障害者施策推進部調べ

主傷病総患者数（アルコール依存症・東京都）

○アルコール依存症の患者数は1万人を超えて推移

（NDPデータより）



アルコール依存症者の受療状況

- 都内におけるアルコール依存症者による入院者数は、おおむね年間700件前後で推移
また、通院者数は、おおむね5千件前後で推移

データ項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
アルコール依存症者による入院者数 ※3	758	767	705	664	643
アルコール依存症者による通院者数 ※4	4,754	4,725	2,775	4,799	5,007

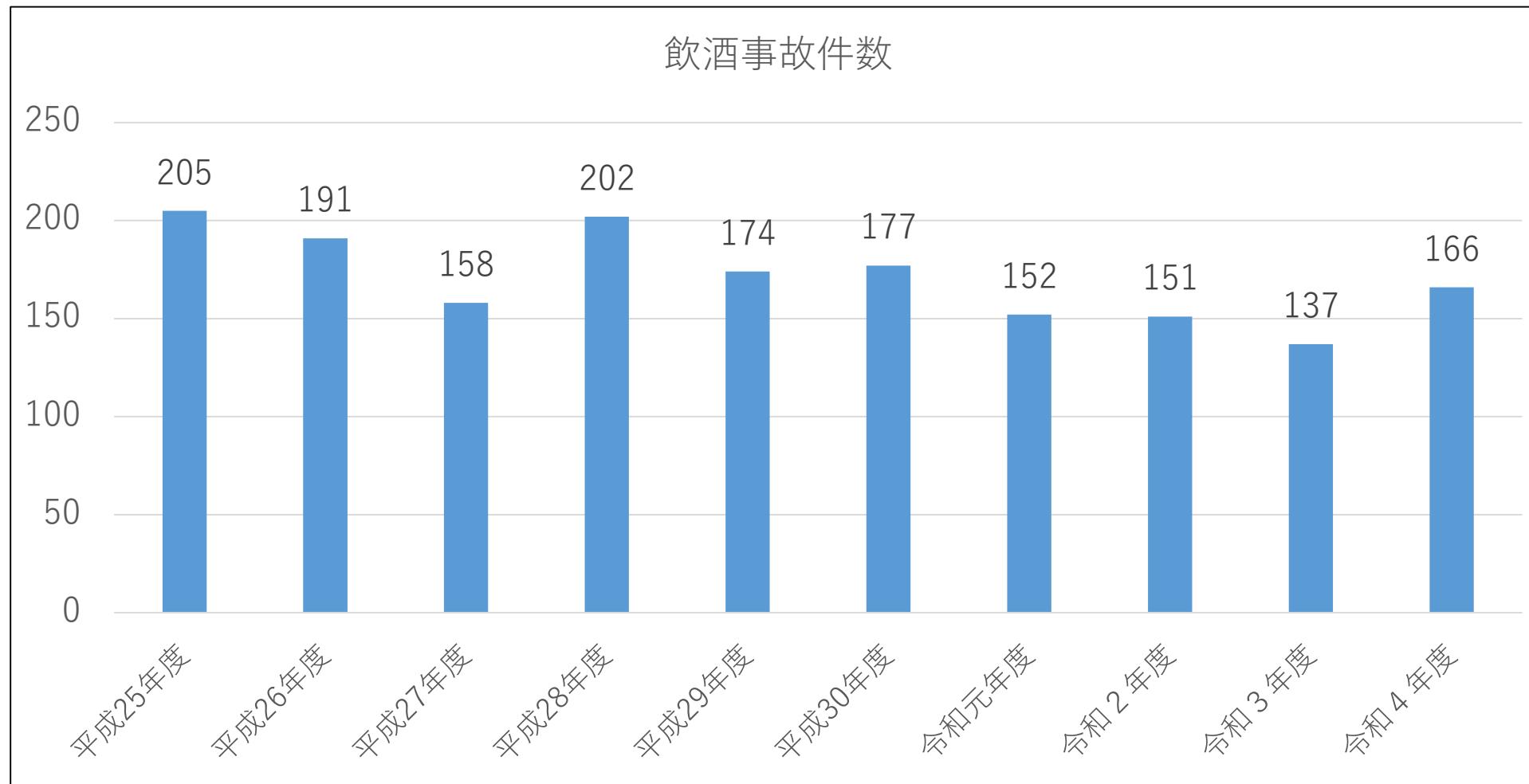
※3 各年度6月30日時点での入院者数

※4 自立支援医療を受給して通院している者のうち、アルコール使用による精神及び行動の障害に分類されている者の人数

資料：入院者数 精神保健福祉資料（厚生労働省）
通院者数 東京都福祉局障害者施策推進部調べ

飲酒事故の状況

- 都内における飲酒事故件数は、おおむね年間100件台で推移

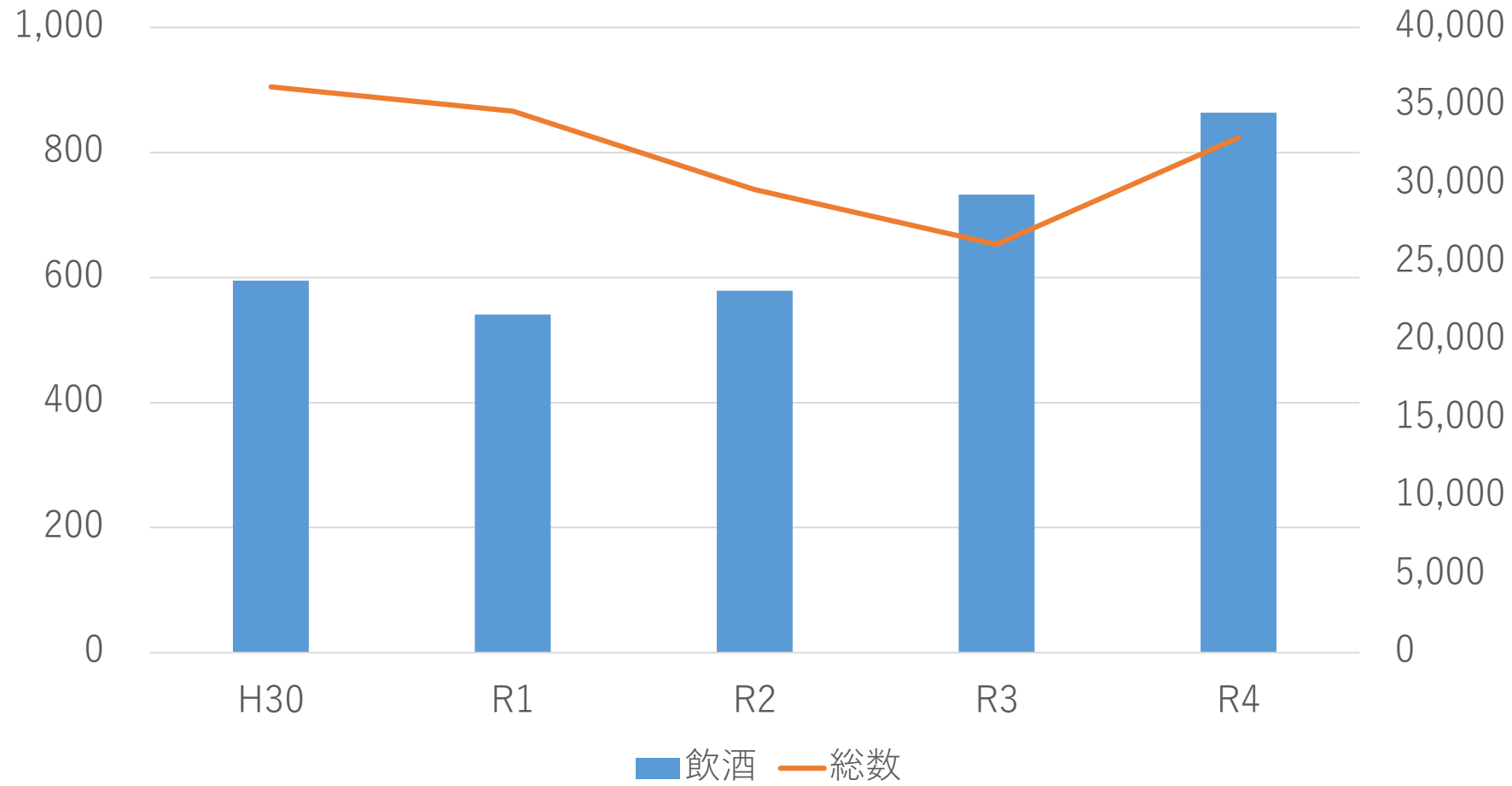


※ 飲酒事故とは、原付以上の運転者が第1当事者となった事故で、その者が飲酒していた場合をいう。

飲酒に係る少年補導の推移

○ 少年の飲酒による補導人員は近年増加傾向

(単位：人)



(提供：警視庁)

東京消防庁管内における急性アルコール中毒搬送人員の推移（過去5年間）

（実績数値は東京消防庁「救急活動の現況」より引用）

○コロナ禍における行動制限、社会経済活動の縮小等の影響を受け、一時期搬送人員も減少していたが、元に戻りつつある。

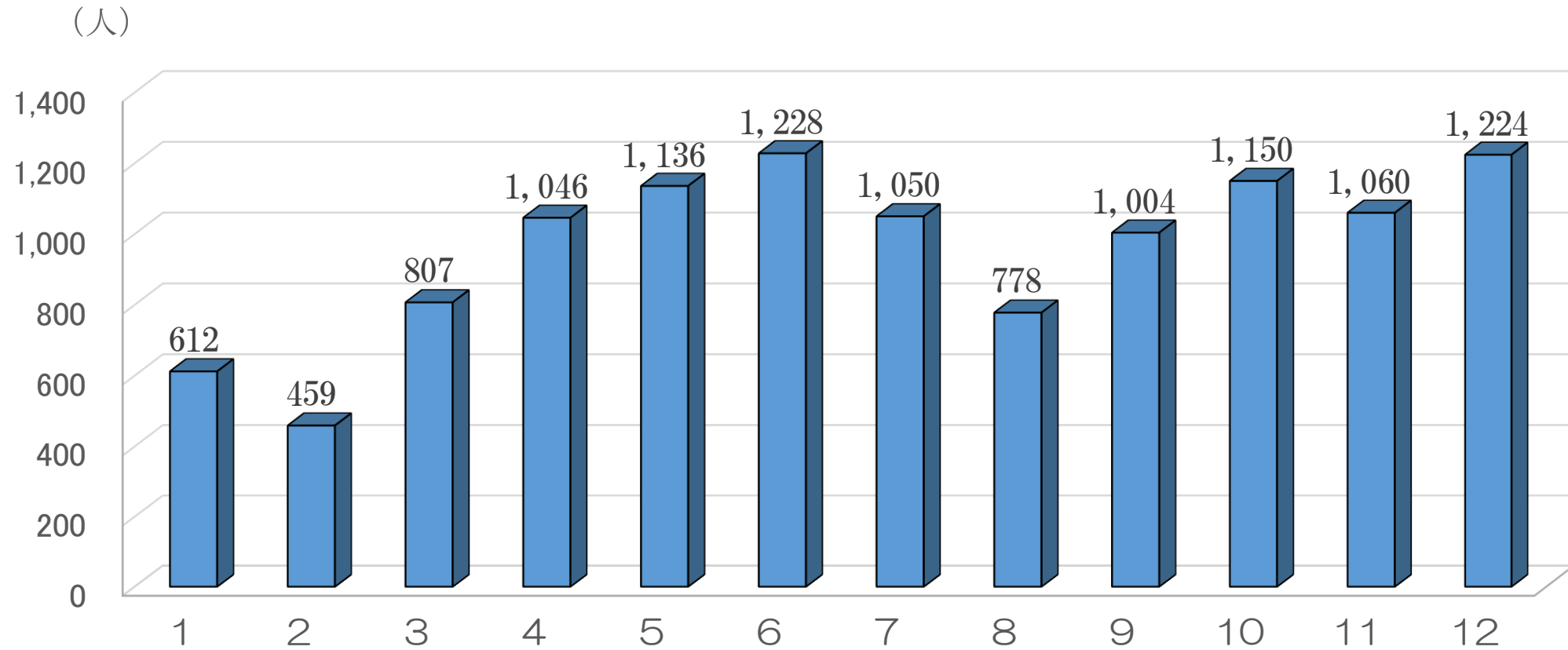
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
男性	11,107	11,351	6,801	5,321	6,645
女性	6,648	6,861	4,490	3,630	4,909
合計	17,755	18,212	11,291	8,951	11,554

【参考】 過去5年間の救急出場件数等の推移

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出場件数	818,062	825,929	720,965	743,703	872,075

【月別】急性アルコール中毒搬送人員（令和4年）

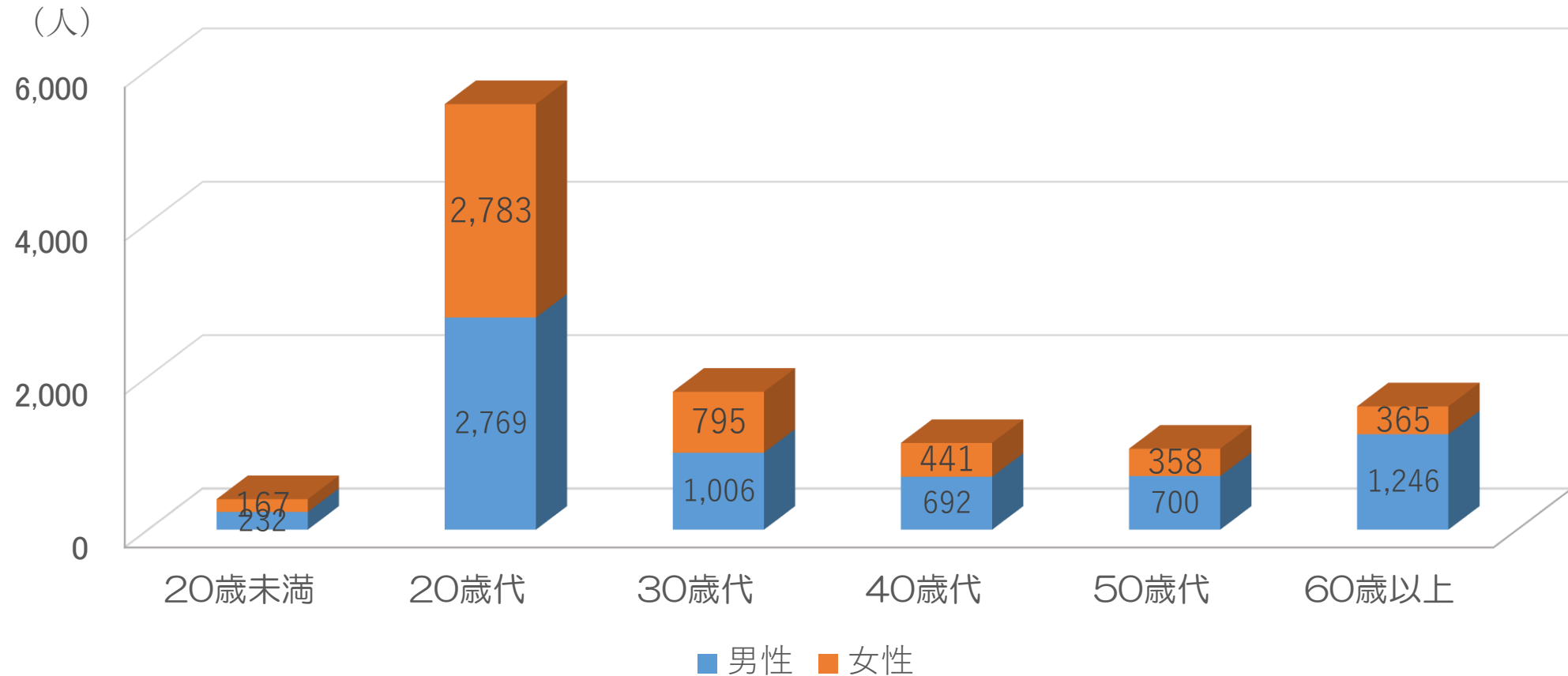
（東京消防庁「救急活動の現況」より）



【年代別】急性アルコール中毒搬送人員（令和4年）

（東京消防庁「救急活動の現況」より）

- 年代別、男女別の搬送人員では、男女ともに20歳代が一番多い



急性アルコール中毒搬送人員の初診時程度（令和4年）

（東京消防庁「救急活動の現況」より）

初診時程度	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
重症以上	56	55	38	28	39
中等症	5,724	5,733	3,194	2,103	2,400
軽症	11,975	12,424	8,059	6,820	9,115
合計	17,755	18,212	11,291	8,951	11,554